

前頁からのつづき

も重要ということが確認できました。

総務文教委員会

視察目的 ①予算の効率化について②教育行政について

視察先 ①岐阜県美濃加茂市②岐阜県多治見市

視察日 平成24年10月17日(水)～18日(木)

どに「ケアカンファレンス」を15分間行い、患者と家族、医師、看護師、薬剤師、ケアマネージャー、ヘルパー、医療機械販売業者、時には歯科医師、民生委員等がそこに出席していました。コミユニケーションを深めることで、患者・家族の退院時の不安解消、医療と介護の質の向上に役立てていました。



▲尾道市の地域医療連携を視察

②笠岡市は認知症高齢者や一人暮らし高齢者の増加に伴い、よりきめ細かな日常の見守りを兼ねた身上監護を行う必要性を認識、弁護士などの専門職後見人以外の市民後見人を中心とした後見人等による支援体制づくりに先駆的に取り組んでいました。国のモデル事業の視察を通し、市民後見人の養成には丁寧な時間をかけて行う必要があること、成年後見制度の市民への周知普及が、何より



▲多治見市立養正小学校の授業を視察

②集中力を高めなおかつ基礎学力の向上に向けた取り組みを行なう多治見市の脳活学習について視察を行いました。朝学習などの時間を活用し、多

機能タブレット端末やオリジナルのフラッシュカードを利用し、リズム、スピード、タイミングを重視し指導を行うもので、算数の計算、漢字の読みなどを非常に速い展開で出題し、クラス全員がそろって答えを大きな声で返す。この繰り返しの中で教員は的確に声掛けを行うことで、自己肯定感が高まり、IQの向上に効果が出る様子を学びました。

災害に強いまちづくり特別委員会

視察目的 ①阪神・淡路大震災から得た教訓について②防災コミュニティの推進と地域の絆づくりについて

視察先 ①兵庫県神戸市「人と防災未来センター」②愛知県豊橋市

視察日 平成24年7月3日(火)～4日(水)

①「人と防災未来センター」は福生市で想定されている立川断層帯と同じ直下型地震があった阪神淡路大震災の経験を伝え、最新の研究内容をわかりやすく展示し、世界に発信しています。

こうした施設は、福生市を含め全国の自治体が大いに活用して、子どもたちや市民の防災意識の啓発にできるのではと感じました。

②豊橋市の自主防災組織はすべての町会・自治会で結成されています。そして、小学校区ごとにこの自主防災組織や各種団体が参加して校区防災連絡協議会を形成し、ここに学校も参加しています。



▲豊橋市の防災コミュニティの推進を視察

普段から研修・協議が行われていて、実効性のある防災対策組織として大変参考になりました。

横田基地対策特別委員会

視察目的 ①呉市における基地関連施設の概要について②米軍・自衛隊の市への影響について③市民や関係諸団体との交流策・情報提供について

視察先 ①広島県呉市②海上自衛隊呉地方隊及び第一術科学校

視察日 平成24年10月23日(火)～24日(水)

呉市の米軍は、弾薬庫のみで人数も38名だけというところで、影響や市民

感情はないとのこと、自衛隊は戦前から海軍工廠があり、その歴史を引き継いでいます。また、戦艦大和を造船した技術が活かしているまちです。自衛隊施設は公共用地として利用価値の高い所にあり、平地が少ない呉市にとってはまちづくりの阻害要因となつています。自衛隊と市民の交流は活発で祭りへの参加はもちろん、音楽隊が中学の吹奏楽クリニックなども行っているとのことでした。海上自衛隊呉地方隊総監部では山口総監を表敬訪問、その後、護衛艦うみぎりの平田艦長より説明をいただき、続いて担当官の案内で潜水艦潜行訓練の体験をさせていただきました。呉市海事歴史科学館では、担当者より、大変詳しく丁寧な説明を受け、江田島市の第一術科学校では鍛冶学校長、幹部候補生学校では池学校長からそれぞれ説明を受けました。



▲呉市海事歴史科学館を視察

特別委員会活動から

災害に強いまちづくり特別委員会

12月14日に委員会を開催しました。初めに、明神下公園内震災対策用応急給水施設の現地視察を行いました。この施設には、市民8日分の飲料水が常に新鮮な状態で確保されています。東京都水道局の職員から説明を受けた後、施設内を見学しました。また、実際に応急給水資器材を使った給水の実演なども含めて一時間にわたって詳しく調査することができました。

その後、委員会を再開し、現地視察を踏まえて質疑を行いました。・施設の運用について訓練はしているか。・この施設を活用した訓練を市民が実施できるか。などの質疑がありました。次に、災害に強いまちづくり特別委員会中間報告書(案)について、委員会を確認された後に、本会議で中間報告がされ、報告書中の提言書について可決されました。

この提言書については、市長に提出されました。次に、7月に実施した行政視察の報告書について協議し確認されました。

12月14日に委員会が開催され、議案3件について協議を行いました。1. 5市1町による総合横田基地周辺市町基地対策連絡会が行った「平成24年度横田基地対策に関する要望書」について説明がありました。今まで、21時から22時まで及び6時から7時までの飛行を極力行わないよう求めていたが、今回から20時から22時、6時から8時に内容を見直すとともに、MV22オスプレイの横田基地への飛来及び、災害準備・対応のための現地実地協定の締結についてを新たに追加して、要請したとの説明を受けました。

2. 東京都が実施した航空機騒音調査結果について 平成23年に東京都が実施した調査結果がまとまり、本委員会に報告されました。

3. 横田基地に関する情報等について 10月、11月に行われた訓練状況、横田基地の有志による市内の清掃活動、米軍人の外出禁止令などの報告がありました。

横田基地対策特別委員会

例年この議会日より各委員会で行った行政視察の報告が行われます。前のページのリード文にもあるように、行政課題に対して先進地に向き、実際に事業を見えます。我々議員にとって何にも代え難い貴重な情報収集の機会となります◆常任委員会は毎年、特別委員会は隔年実施しますが、今年も特別委員会も視察を行いました。概要は議会だよりでお伝えしていますが、詳細は報告書にまとめ、市議会ホームページで公開しています。また、実施できそうな事業に関して一般質問も行われました◆当市にも全国各地の議会から視察に見えます。昨年度は19の議会から来庁されました。この議会でも議会改革に取り組んでいて、議場の設備、議事録作成システム、インターネット中継や一般質問の方法など議会運営に関わる視察も多くあります。ある意味では先進市として認められていくといえます。今後も議会改革に取り組んでまいります◆今年の冬はことさら寒いよう、庭の霜柱の茎にも大きな氷の結晶ができます。風邪など引かないようご自愛ください。